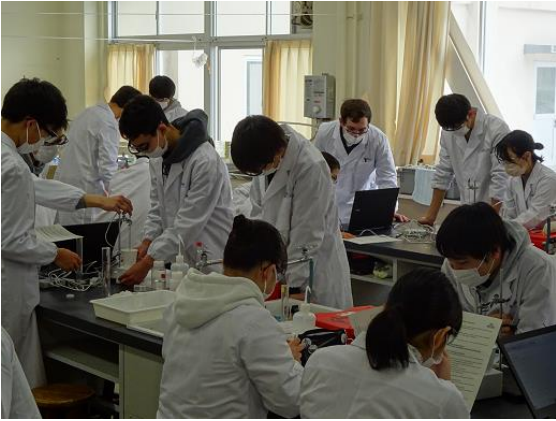



令和3年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名称	SSRB Chemistry experiments in English	
期日	令和4年1月27日(木) 5限、6限にて実施	
会場	長岡高校 化学実験室	
対象	2年生理数科2クラス	
目的	ALTによる英語での実践的な指導を経験する。 このことで、科学研究において必要である英語の学習意欲を高めるとともに教科の枠を超えた学びを体験する。	
内容	ALTのペイトン先生が化学実験の指導を英語で実施した。 英語の実験プリント、パソコンのソフトも英語バージョンで行った。 ALTが実験目的と方法、注意点をわかりやすい英語で説明した。 生徒は温度センサーとパソコンを用いて温度変化のグラフを描き、反応熱を求めた。	
		
	ペイトン先生が机間巡視しています。 実験に対する質問も英語で行います。	温度センサーでデータを取り込む ソフトも英語バージョンです。
アンケート 評価	<p>授業後のアンケート結果を集計すると、(回答数 74)</p> <p>(1) 英語での実験を行うということを聞いてどのように感じていましたか。 楽しみだった 【18%】 少し楽しみだった 【57%】 どちらかというといやだった 【22%】 いやだった 【3%】</p> <p>(2) 英語での実験の指示は、よくわかりましたか。 よくわかった 【31%】 すこしわかった 【58%】 あまりわからない 【7%】 まったくわからない 【0%】</p>	

	<p>(3) 今回の経験で、自分の英語学習の意欲は、変化しましたか？ 向上した 【23%】 やや向上した 【36%】 変化なし 【40%】 やや低下した・低下した【 1%】</p> <p>(4) 英語での実験の授業を、どのように感じましたか。 楽しかった【42%】 やや楽しかった【52%】 どちらかといえばつまらなかった【 5%】 つまらなかった【 1%】</p>
感想 など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語での実験だと日本語に比べてしっかり考えようとしたので集中できた。 ・ すべてが英語で行われる化学の授業は初めてだったため最初は緊張したが、実験を進めて行くにつれて、グループの仲間と協力できたのでうまくいった。次があれば次も楽しみたい。 ・ 用語とかが英文に入ってくると一気にわからなくなった。 ・ ちゃんと英語を読まないと言験を失敗する。 ・ すべて英語で行う授業は新鮮で良い体験だった。 ・ 英語での実験、パソコンを使っただ験、両方とも初めてだった。また機会があれば楽しみたい。 ・ English Experiment Again!! ・ 理解に時間がかかって難しかったが楽しかった。 ・ 日本語禁止と聞き、始めは不安だったが、理解できる内容だった。楽しかった。 ・ 実際に留学して研究するのだったら、このようになるのかと思うと、英語の勉強もしたくなるし、同時に化学などの実験もできるため、留学に少し興味が湧きました。